1　国語

学校番号	120

平成 31 年度　国語科

教科	国語	科目	現代文Ｂ	単位数	3	年次	3
使用教科書	新編　現代文Ｂ　改訂版　（大修館書店）						
副教材等	キーワードの卵（尚文出版）　新版三訂　カラー版　新国語便覧（第一学習社）						

1 担当者からのメッセージ

・文章を正しい「読み」で読めるようになること。正しく読めなければ、正しく理解できません。
・授業の開始時に漢字の読み書きの時間を設けるので、「読む能力」「書く能力」を身につけましょう。
・語彙力をつけましょう。評論文や小説に登場する基礎的な語句を正しく理解しましょう。
語彙力が高ければ、自分で文章を書く際にも、自分の考えや気持ちを的確に表現できるようになります。
・教科書の文章だけでなく、たくさんの文章に触れましょう。心の深い所に届くような文章、おもしろい文章に出会うことは、これからの人生で必ず役に立ちます。
・提出物は期限を守り必ず提出すること。定期考査は学習計画を立てて臨むこと。

2 学習の到達目標

・本文の語句を正しく読める、正しく書ける、意味を理解する。
・文章の内容や構成を論理的に理解し説明することができる。
・文章の展開を把握し、登場人物の心情を正しく理解することができる。
・文学史の基礎知識を身につける。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	授業上での指示事項を正しく理解し、行動に移せる。机上に不要なものを置かず授業に集中する環境を整える。	文章の内容を的確に理解し、発問に対しての解答をまとめる。その内容を相手に説明する。	指定の文字数に合わせ文章を要約する。相手や目的、意図を理解し、適切な表現を用いた文章を書く。	文中の語句を正しく読む。文章の内容や構成、展開、登場人物の心情を理解する。	基礎的な文学史や、伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検（ノート、ワークシートなど） 小テスト	行動の観察（発問に対する解答など）	記述の確認及び点検（ノート、ワークシートなど）	記述の確認及び分析（ノート、ワークシートなど） 定期考査 小テスト	記述の確認（ノート、ワークシートなど） 定期考査 提出物
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。					

4 学習の活動

	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	評論の内容を理解するⅠ	教材: 「ひかりのどけき春の日に―日本人と桜」 「人工の自然」	○		○	◎	○	a: 文章の構成や展開を確かめ、文章の内容にふさわしい文体や語句、表現の技法が用いられているかどうかを考察しようとしている。 c:文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方で書いている。 d: 文章の構成や展開を確かめ、文章の内容にふさわしい文体や語句、表現の技法が用いられているかどうかを考察している。 e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a、c: 行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認と分析及び小テスト、定期考査
	小説の内容を理解するⅠ	教材: 「待合室」 「ナイン」	○	○		◎	○	a:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかをとらえ、象徴、予兆などに果たしている効果に気づこうとしている。 b:内容を踏まえて、自分の考えや意見を説明できている。 d:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかをとらえ、象徴、予兆などに果たしている効果に気づいている。 e: 正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a、b: 行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認及び小テスト、定期考査
2学期	評論の内容を理解するⅡ	教材: 「祖母が笑うということ」 「ゴリラの思いやり」 「言葉は変わるもの、されど伝承すべきもの」	○		○	◎	○	a:文章の構成や展開を確かめ、文章の内容にふさわしい文体や語句、表現の技法が用いられているかどうかを考察しようとしている。 c: 文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方で書いている。 d:文章の構成や展開を確かめ、文章の内容にふさわしい文体や語句、表現の技法が用いられているかどうかを考察している。 e: 正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a、c:行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認と分析及び小テスト、定期考査

	小説の内容を理解するⅡ	教材: 「こころ」	○	○		◎	○	a:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかをとらえ、象徴、予兆などに果たしている効果に気づこうとしている。 b:内容を踏まえて、自分の考えや意見を説明できている。 d:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかをとらえ、象徴、予兆などに果たしている効果に気づいている。 e: 正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a、b: 行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認及び少テスト、定期考査
3学期	評論の内容を理解するⅢ	教材: 「幸せの分量」 「『検索』時代における読書」	○		○	◎	○	a:文章の構成や展開を確かめ、文章の内容にふさわしい文体や語句、表現の技法が用いられているかどうかを考察しようとしている。 c: 文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方で書いている。 d:文章の構成や展開を確かめ、文章の内容にふさわしい文体や語句、表現の技法が用いられているかどうかを考察している。 e: 正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a、c: 行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認と分析及び小テスト、定期考査
	小説の内容を理解するⅢ	教材: 「鉄道員」	○	○		◎	○	a:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかをとらえ、象徴、予兆などに果たしている効果に気づこうとしている。 b:内容を踏まえて、自分の考えや意見を説明できている。 d:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかをとらえ、象徴、予兆などに果たしている効果に気づいている。 e: 正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a、b: 行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認及び少テスト、定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。